

第3学年・学級活動『男の子・女の子』

1) 日 時 …… 平成 年 月 日 () 校時

2) 場 所 …… 校時 室

3) 単元名 …… 『男の子・女の子』

4) ねらい …… 男の子女の子の特性はあるが、お互いに認め合い協力することの大切さを理解させ、男女が楽しく生活行動ができる態度を養う。

5) 主題設定の理由 …… 中学年になると、女子は乳房の発達が見られるなど、二次性徴発現の兆しが出始め、児童の性に対する意識は、強くなる。学習も遊びも別々にグループを組みたがるようになり、家庭や社会の習慣(力仕事は男の仕事、掃除や洗たくは女の仕事など)をまねながら男女は少しずつ異なった考え方や行動を身につけていく。そしてこの頃から異性への対応がぎこちなくなり、異性への関心が芽生えながら、男女間のもめ事が多くなっていく。そこでこの時期に、男女間のトラブルの原因に目を向けさせ、異性の立場を理解して互いに相手を尊重していき、互いに助け合っていくという気持ち育てたい。

6) 児童の実態 …… (省略)

7) 展 開

	指導事項	児童の活動と指導内容	留意点と資料
10分	○学校での遊び	○最近みんなは外でどんな遊びをしているかVTRを見て話し合う。 ・男子…サッカー・ドッジボール ・女子…縄跳び・アスレチック ・男女一緒…アスレチック・高おに	・資料：VTR「遊んでいる場面」 ・男女と一緒に遊ぶことが可能なものに、ドッジボール・おにごっこ・陣取りなどがあるが、同性集団での遊び指向が強まっていることに気づかせる。
15分	○男女の協力	○低学年の頃と比べて、男女と一緒に遊ばなくなったのはなぜか話し合う。 ・好きな遊びは男女によってちがうから ・女子と遊ぶのがかったるい ・一緒に遊ぶと冷やかされる	・資料：VTR「低学年が遊んでいる場面」 ・教同社 5年副読本一心の変化—男の子と女の子の関係のあり方の絵 ・性別の集団で遊ぶようになった自分たちの変化を「心の成長」として確かめる。

10分	○仲の良いクラスづくり	○自分たちの学級で、男女と一緒にやってよかったことを話し合う。 ・遊び・仕事・勉強など具体的な中から ・男女それぞれの良いところを認める ・仲間はずれをつくらない ・一人一人を大切に ・個人差を認め力を出し合う	・いじめ、差別、仲間はずれをなくす態度や考えを身につけさせる。
10分	○個人目標の設定	○今までの反省をし、楽しい学級にするために、各人の努力目標をたてて発表する。 ・友だち関係 ・集団遊び ・仕事	・冬季の集団遊びの種目など具体的にあげさせる。 ・各項目ごとに一つずつ具体的に短冊に書かせる。

8) 評価 …………… 男女の協力の大切さが分かり、これから男女仲の良い学級作りをしようとする意欲がわいたか。

9) 日常化への手立て …… 個人目標を短冊に書き、教室に常掲することにより意識の定着を図り、休み時間や放課後に活用できるようにする。

10) 資料 …………… 教同社 性教育読本5年
自作ビデオ

11) 指導するにあたって …… この主題は、特に児童の実態とかかわりが深いため、3・4年のいずれで取り上げてもよい。心や体に変化がみられた時期がよいので、学年の後半での学習が適当であろう。
自作ビデオは、自分たちのこととして考えられるので、身近な友だちや、クラスの児童が適当である。